

Press Information

14ビット、マルチチャネル、シリアルI/O ADC、QSOPパッケージ

MAX1067/MAX1068は、200ksps、14ビット、マルチチャネルADCです。これらシリアルインタフェースのADCは、外付けロジックなしにSPI™、QSPI™、MICROWIRE™デバイスに直接接続します。MAX1167/MAX1168は、入力マルチプレクサ、高帯域幅トラック/ホールド、発振器、4.096Vバンドギャップリファレンス、及び14ビット逐次比較ADCを内蔵しています。これらのADCは、内蔵リファレンス、または+3.8Vからアナログ電源電圧までの範囲の外付けリファレンスでも動作することができます。これらのADCは、優れたダイナミック性能(THD 3/4-98dB)、DC精度(± 0.5 LSB DNL、 ± 1 LSB INL)、高速(200ksps)、及び低消費電流(200kspsで2.9mA)を特長としており、工業プロセス制御、計測器、及び医療アプリケーションなどのアプリケーションに最適です。

MAX1068は8チャネルマルチプレクサを内蔵し、MAX1067は最大4つのアナログ入力を受け入れます。各デバイスは、+4.75V ~ +5.25Vの単一電源(アナログ電源)から動作し、別のデジタル電源電圧(デジタル電源)を備えており、+2.7V ~ +5.25Vのデジタルロジックに直接インタフェースすることができます。内蔵のプログラマブルスキャンモードが各チャネルを順次、または1つのチャネルを連続で変換します。DSPフレームシンク入力及び出力により、DSPによる変換が単純化されます。MAX1068は、データビット転送入力を備え、8ビットまたは16ビットデータ転送モードを選択することができます。MAX1068/MAX1067は、1.1 μ sの高速起動と変換と変換の間に、ソフトウェアプログラマブルな自動パワーダウンモードを備えています。シリアルインタフェースにアクセスすることでデバイスは自動的にパワーアップし、ターンオン時間が短いため、変換と変換の間にシャットダウンすることができます。この技術により、サンプルレート10kspsで消費電流が150 μ Aに抑えられます。

MAX1068は、24ピンQSOPパッケージ、MAX1067は、16ピンQSOPパッケージで提供されます。いずれのデバイスも、民生用温度範囲(0 ~ +70)及び工業用拡張温度範囲(-40 ~ +85)での動作が保証されています。

SPI及びQSPIはMotorola, Incの商標です。

MICROWIREはNational Semiconductor Corp.の商標です。

